

## 授業科目

## システム開発論

担当教員名 近藤 正紀	対象学年	3	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		○

## 授業の概要

ユーザーの要求などに従って、コンピューターを中心とする情報処理システムを構築することをシステム開発という。

本講義では、システムの分析や設計、プログラミング、テストなどの開発手順に沿って、システム開発の方法論のうち、構造化設計技法について、随所に演習を実施しながら理解する。また、併せてオブジェクト指向開発の概要を習得する。

## 授業の目的

システム開発の工程について説明でき、また、システム設計書を記述読解できることが目的である。

## 学習目標

システム開発、特にデータ中心設計の進め方について説明できる。  
システム開発の実際について、設計文書を作成することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	システム開発の概要	講義	近藤 正紀
2	システム開発のプロセスモデル	講義	近藤 正紀
3	分析・要求定義	講義	近藤 正紀
4	外部設計 (1)	講義	近藤 正紀
5	外部設計 (2)	講義	近藤 正紀
6	外部設計 (3)	講義	近藤 正紀
7	内部設計 (1)	講義	近藤 正紀
8	内部設計 (2)	講義	近藤 正紀
9	内部設計 (3)	講義	近藤 正紀
10	内部設計 (4)	講義	近藤 正紀
11	プログラム設計 (1)	講義	近藤 正紀
12	プログラム設計 (2)	講義	近藤 正紀
13	プログラミングとテスト	講義	近藤 正紀
14	ソフトウェア規模の見積	講義	近藤 正紀
15	オブジェクト指向開発	講義	近藤 正紀

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	Composite/Structured Design	Glenford J. Myers	Litton Educational Publishing	1978年		
その他の資料						

## 評価方法

試験、課題提出状況で評価する。

## 履修上の留意点

講義時に随時参考図書を紹介する。

## オフィスアワー・連絡先

質問等はメール等連絡してください。  
masanori-kondo@nuhw.ac.jp